

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年2月19日(木) 開会9:30 閉会11:30		
開催場所		つくば市立吾妻中学校 パソコン室・体育館		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	国府田 友康(会長)、久松 尚 関口 哲郎、小池 久美子(書記)、長屋 和宏 高橋 仁、宮田 征門、古田 雄一、野本 高志 櫻井 典子、寺山 浩美、塚本 忠行 吾妻中学校：菅谷 和美、小飼 美保、細見 広宣 横山 英子 津田 美也子 吾妻小学校：園田 浩美、大竹 理子、大塚 篤史		
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事 山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項(個人情報)に該当する情報が含まれるため。		
議題		熟議「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために ～つくスタを通じた地域とのつながり～」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 (1)挨拶 (2)本日の流れの確認 2 協議その1 (1) 第2回議事録の確認 (2) 本年度の教育活動の振り返りと今後に向けて (3) 生涯学習推進課より 3 吾妻中学校9年生による合唱(体育館) 4 協議その2 熟議「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために ～つくスタを通じた地域とのつながり～」 5 その他 6 閉会			

<審議内容>

1 開会

(1)挨拶

(2)本日の流れの確認

2 協議その1

(1)第2回議事録の確認

(2)本年度の教育活動の振り返りと今後に向けて

小学校

・大竹委員

令和7年度『幸せな学校づくりアンケートについて』の分析

子供たちの「もっと学びたい」から始まった吾総研の活動が充実していた。

・園田委員

児童も教職員も自分のよさを生かす。一から作り上げる力を育めるようにしたい。

・大塚委員

吾総研を通じ、つくばスタイル科のあるべき姿を見直す流れになった。子供たちは失敗しても、自分で受け止めて改善し続けることができるようになっていく。吾総研に地域住民が参加していることに高い評価をいただいている。

中学校

・小飼委員

今年度実施した2回の学校評価アンケートの分析。

授業について満足度が高い。自己評価が低いので、自己肯定感の確立が目標。地域の人との人間関係の構築はまだまだ。自分が地域の担い手だという自覚が高まるようにしたい。

・菅谷委員

体育祭、紫苑祭、委員会活動など、生徒が中心となって進めている。

仲間や友人同士で支え合ったり助け合ったりすることで、思いやりの心が育つ。校則がない→自らルールメイキングできるという、教員と生徒間の信頼関係があるからこそである。

(3)生涯学習推進課より（村上社会教育主事）

・CSは時間がかかる。自分が関わって3年目である。

大人が子供たちのことを考えていることを伝えることが大切である。将来子供たちがCSの立場になるかもしれない。

・小学校 園田委員

地域のボランティアが1,500人を超えたとか、教員の負担軽減になったなど、CS評価ガイドラインだけでは伝わらない情報がある。

つくば市教育大綱の3つの柱が、本校の探求する学びである。

3 吾妻中学校 9 年生による合唱（体育館）

アンコールに応え、急遽アカペラで校歌を斉唱した。

4 協議その 2

「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために

～つくスタを通じた地域とのつながり～」

・中学校 津田委員

つくばスタイル科の活動を、地域や外部の人と協力して進めるには、どんな方法があるか。

7 班に 3 人ずつ生徒が加わり、アイスブレイク後、9 年生の司会で熟議を実施した。

・ 1 班

積極的にボランティア活動に参加する。

「ようこそ先輩」を拡大して、地域の人たちにも広げる。

つくばスタイル科での活動を各教科に繋げて、学びを広げる。

・ 2 班

「ようこそ先輩」高校生や大学生版で、近い将来をイメージできるように。

体育祭は保護者だけの公開だが、地域の人にも公開できたらよい。

外国籍の保護者に来てもらい、文化や料理を紹介する場ができればいい。

・ 3 班

近くに駅や研究所があるので、つくばスタイル科の活動を校外にも広げていきたい。

・ 4 班

英語でつくば市の魅力を紹介するプレゼンテーションを、小学校や地域まで広げたい。

防災訓練のために、学校で宿泊体験をしたい。

ボランティアを広く募集し、その後の楽しみも用意していきたい。

紫苑祭や体育祭を地域の人に公開したらどうか。

・ 5 班

職場体験で学んだことのプレゼンテーションを、職場体験先にもして、さらに繋がりを深めたい。

つくば市の魅力の英語発表について、もっとマニアックな部分を広げたい。

筑波大に來ている留学生など、英語圏の人にも伝えたい。

・ 6 班

地域の人と一緒に避難訓練をすれば、地域を人の顔を覚えられる。

英語のプレゼンテーションは、英語圏の人に聞いてほしい。

学年を超えて発表を聞き合うと、いろいろな意見が出るのではないか。

・ 7 班

キャリア学習先も生徒が決めるのはどうか。

自分たちが興味のあることを、自分たちが専門家に聞き、それを地域の人に発表するのはどうか。

- ・津田委員
保護者、教職員、地域の人が混ざって会話することで、様々な可能性が広がることを実感した。
- ・国府田会長
生徒が入ることで、自分にもエネルギーをもらえた。
- ・小飼委員
子供たちの発表を聞いて誇らしく思った。

5 その他

- ・生涯学習推進課よりアンケートについての説明

6 閉会

- ・本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページに掲載予定

令和7年度第3回吾妻学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和7年 2月19日（木）

9:30～11:30

場所：吾妻中学校 パソコン室、体育館

次 第

1 開 会

- (1) 挨拶
- (2) 本日の流れの確認

2 協議 その1

- (1) 第2回議事録の確認
- (2) 本年度の教育活動の振り返りと今後に向けて
- (3) 生涯学習推進課より

3 吾妻中学校9年生による合唱（体育館）

4 協議 その2

熟議「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために」

～つくスタを通じた地域とのつながり～

5 その他

6 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回吾妻学園コミュニティ・スクール協議会				
開催日時		令和7年11月21日（金）開会9:20 閉会11:25				
開催場所		つくば市立吾妻小学校 図書室				
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課				
出席者	委員	国府田 友康（会長）、木塚 朝博（副会長）、久松 尚 関口 哲郎、小池 久美子、長屋 和宏、高橋 仁 宮田 征門、古田 雄一、井上 波彦、野本 高志 櫻井 典子、上野 真美、寺山 浩美、塚本 忠行 岡田 幸恵（書記） 吾妻中学校：菅谷 和美、小飼 美保、細見 広宣 吾妻小学校：園田 浩美、野原 俊之、大竹 理子 秋元 良一、大塚 篤史				
	事務局	教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員：酒井 和宏				
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため。				
議題		熟議「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために」				
会議録署名人				確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 学校参観 (1) 合唱発表参観 (2) 授業参観 2 開会 (1) 会長・学園長挨拶 (2) 本日の流れの確認 3 協議 (1) 第1回議事録の確認 (2) 熟議「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために」 4 各校からの報告 5 その他 6 閉会					

<審議内容>

1 学校参観

- (1) 合唱発表参観
- (2) 授業参観

2 開会

- (1) 会長・学園長挨拶
 - ・学校から代表児童の協議会参加を提案→国府田会長了承
- (2) 本日の流れの確認

3 協議

- (1) 第1回議事録の確認
 - ・前回の議事及びグラフィックレコーディングで振り返り
- (2) 熟議
 - 「吾妻学園の児童生徒のよりよい幸せのために」
 - ・ファシリテータの櫻井委員の主導の下、6グループに分かれて吾妻小学校におけるルールメイキングについて協議した。
 - ・各グループに2名ずつの児童が参加し、具体的なルールメイキングの事例について紹介した。その後、各委員からの質疑応答やコメントを通して議論した。
 - ・PCのルール、給食のルール、ゲームの時間制限などが話題に挙がったり、話し合いの中で少人数意見を大事にしていることの説明が児童から挙がりした。
 - ・児童の退室後、それぞれのグループでの議論の内容を共有した。

細見委員：ルールメイキングのあり方そのものについて
多数決で決まったとしても、少数意見は無視しないことが大切である。

関口委員：自分たちで決めたルールを設定し、守ることは自己肯定感の向上にもつながる。また、親でも先生でもない大人と話すことも自己肯定感につながり、そのきっかけとしても地域のお祭りである吾妻まつりは重要である。

木塚委員：いじめの未然防止に関連し、「いじめをなくす」発想ではなく、異なる意見の存在を受け入れた上で、大きなベクトルを合わせることに重要だと思う。特に吾妻学園は外国籍など多様なバックグラウンドのある児童生徒が多く、そういった考え方は受け入れられやすいはずである。

4 各校からの報告

吾妻小学校（秋元委員）：
主に今年度から始まった吾総研、3総研の活動について

大学、観光協会、つくば市など多様な地域コミュニティからの協力の下、ラーメン開発からロンドンへのオンラインインタビューなど、児童たちの新たな学びが推進されている。

吾妻中学校（細見委員）：

年間行事を通して地域コミュニティからの協力が得られている。特に今夏は、コロナ禍以降初めての職業体験を行い約 30 事業所の協力を経て、カフェから消防まで様々なところで生徒が学びを深めることができた。

5 その他

酒井地域連携教育指導員：

「社会に開かれた教育課程」「学校を核とした地域づくり」の実現のために、地域の資源を活用した学びを展開する吾妻学園は、地元の吾妻まつりなどもあり、他の新興地域の理想となるような活動ができている。

吾妻小学校（園田委員）

・今年度の市の功労者として、吾妻学園コミュニティ・スクール協議委員から 3 名（津田氏、長屋氏、井上氏）が市政功労者賞の表彰を受けることについて紹介があった。

・次回開催予定 令和 8 年 2 月 19 日(木) 会場：吾妻中学校

6 閉会

・本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページに掲載予定